会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（西久保自治会）
2　日時	平成30年7月1日（日）11：00～12：00
3　場所	鶴嶺東コミュニティセンター
4　出席者	（資源循環課）添田主幹、水本主事 （環境事業センター）門倉副主査、和田主事 （西久保自治会）参加人数：50人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●ごみ処理経費について。資料に国・県の平均値が出ているが、それに比べて茅ヶ崎市が高い理由はなにか。 →お示しした平均値は環境省の統計データによるものだが、自治体によりごみ処理経費を算出するために計上している項目が違い、比較が難しいところである。比較というよりは参考で掲載していることをご理解いただきたい。 ●藤沢市など、近隣市のデータが判れば、そちらのほうが理解しやすい。 →承知しました。 ●統一的なデータでないならば、掲載するべきではないと思う。経費が高いから有料化するという説明では納得できない。数字は、根拠のある数字でないと意味がないのではないか。 →資料の作りと、数値の正確性について再度検証します。 ●検証してから、もう一度意見交換会をしてほしい。 →はい。 ●有料化は反対ではないが、費用対効果を考えた上で、どの品目を有料化するか、市では検討しているか。 →有料化が決定した話ではないが、先行市を参考にすると、燃やせるごみ、燃やせないごみを有料化することが考えられる。ただし、今後このような意見交換会の中で、有料化するならばどのような品目を有料化するのか、検討していきたいと考えている。 ●平成27年度の修繕費4.8億円、平成28年度は21.0億円とあるが、かかりすぎではないか。 →現在使用している焼却施設は平成7年にできたもので、この施設の基幹的設備改良工事として建物の心臓部を交換するような大規模な修繕を行ったため、このような費用がかかったものである。 ●ごみの有料化について、他市の状況を見ると市民一人当たり1600円とあるが、4人家族なら1600円×4人と考えていいか。 →はい。 ●有料化は、ごみ袋を有料にするのか。 →一般的なものは、有料の指定袋を使用してごみを出す方法である。ほかにも、シー

	ルを購入して袋に貼る方法もあると認識している。 ●指定の袋を売る場所はどこにするのか。 →有料化自体が決定した話ではないが、有料化ということになれば、現在大型ごみ等で使用する収入証紙を扱っているお店などを想定している。 ●ごみの有料化がシールのタイプだと、量がばらばらでも、同じ値段になるのか。 →有料化が決定しているわけではないので、制度設計についてはまだ行っていない。有料化が決定すれば、制度設計についても今後行っていく予定である。 ●戸別収集となると、鳥獣対策の問題など、玄関先にはどのように出すことになるのか。 →先行市の藤沢市を見ると、ご自身でごみのポリバケツやネットを用意していただき、鳥獣対策などを行っていただいている。 ●戸別収集となると、アパートなどの集合住宅も玄関先にごみを置くことになるのか。 →アパートなどの集合住宅は、既存の集積場所を使用していただくことを想定している。 ●ごみの有料化が決定したら、市としてはすぐに実行するということになるのか。 →今後の進め方ですが、このような説明会は一度限りではないと考えており、戸別収集にかかる経費が明らかになった時点で、平成 31 年度の早い時期に改めてご説明させていただきたいと考えている。その後、パブリックコメントの手続きを経て、自治会、まちぢから協議会をまわり、平成 31 年度末に方針を決定したいと考えている。 ●紙の分別チラシを、全戸に配布して欲しい。ごみの減量・資源化を進めるには、人の意識を変えることが一番効果的だと思う。 →紙の分別チラシについては、予算の都合上全戸配布が出来なかったが、年 2 回発行しているごみ通信ちがさきで、このような内容を掲載していきたいと考えている。 ●戸別収集に関して、市民アンケートはしないのか。このような意見交換会に参加できない方のほうが多いと思う。 →今後の周知の方法を検討しており、市民の皆様のご意見を汲み取れるような方法も考えている。 以上